



平成 27 年 5 月 11 日

各 位

上場会社名 株式会社エイジア
代表者 代表取締役 美濃 和男
(コード番号 2352)
問合せ先責任者 専務取締役 中西 康治
(TEL 03-6672-6788)

平成 27 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 値 と 決 算 値 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

平成 26 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 27 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 値 と、本 日 公 表 の 決 算 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で、下 記 の 通 り お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 27 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 値 と 決 算 値 と の 差 異 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想値 (A)	1,120 ～1,180	245 ～280	245 ～280	145 ～165	75.04 ～85.40
決算値 (B)	1,031	178	181	108	56.33
増減額 (B-A)	△88 ～△148	△66 ～△101	△63 ～△98	△36 ～△56	
増減率 (%)	△7.9 ～△12.6	△27.1 ～△36.2	△26.1 ～△35.4	△24.9 ～△34.0	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月 期)	1,007	242	238	130	70.09

2. 差異の理由

売上高が前回予想(期初計画)に対して 88 百万円～148 百万円減少する見通しとなりましたのは、アプリケーション事業において、前期比 100 百万円以上の増加を見込んでいたのに対して、大型案件の低迷により実績は約 30 百万円の減少となることが主な要因です。

当社の主要顧客である小売業やサービス業の IT 投資への消費税率引上げの影響は、当社が想定していた以上に大きいと思われ、総じて大型システムの販売が期初予想に対して苦戦いたしました。

前期に子会社化した株式会社 FUCA との相乗効果によるコンサルティングサービス売上は予想を上回ったものの、アプリケーション事業の大型案件の低迷を補うまでにははいたりませんでした。

利益につきましては、利益率の高いアプリケーション事業の売上が予想を下回ったことによるものです。

以 上